



のなかゆういちろう
野中裕一郎

日中友好の絆を大切に

質問

回答

政治状況に左右されない友好
交流にしていきたい

〔町長〕
〔教育次長〕

個人負担が大きいこともその要因の一つだと思われます。状況に応じて募集数は検討します。(町長)

質問 尖閣諸島に端を發する日中の関係は不安定さを増しています。また、大気汚染の問題も深刻です。中国への子ども達を派遣することには慎重かつ柔軟な判断をするべきだと考えます。

回答 昨年、中国で起きたデモは過去のものとは違い、一部の中国国民の言動は極めて憂慮すべき状態です。現地の状況を慎重に見極めて派遣を決定していきたいと思えます(町長)

質問 私は昨年の教育交流団に特使として参加し、子ども達が成長する姿を見て感動しました。しかし今年には派遣人数が大幅に減らされています。厳しい財政が要因なのですか。

回答 財政状況が要因ではありません。児童、生徒たちの応募状況を考慮して全体枠を見直しました。

質問 訪問団が中国に滞在している間は様々なトラブルが発生するのが常です。昨年比べて不安要因が多い状況で、これ

で通りの体制で対応できませんか？

回答 現地滞在中は人民政府、町・教育委員会が密に連絡を取り合って団員の安全確保に努めたいと考えます。

状況が悪化すれば、渡航の中止を決定することもやむを得ないと思えます。(教育次長)。



大型台風のため空港で半日ちかく足止めされ、夜になってようやく予定便に乗り込む訪問団の子どもたち。このような予期せぬトラブルも起きる

て迎え入れるべきです。町長の考えを聞かせてください。

回答 日本の思想と生活は、中国から大きな影響を受けてきました。孔子による儒教思想、稲、箸、漢字など様々なものが日本の礎となっています。政治面での対立があるとしても、日中間の関係はそれに左右されない状況まで育っていると思えます。

すでに江西省から、今年も訪問団を受け入れられるという意思が伝えられました。何らかの事情で訪問団派遣ができなくても、中国側の交流団は迎え入れていきたいと考えています。

今後とも末永い友好交流にしていきたいと考えています。(町長)

質問 これまで安八町と豊城市の間に育んできた日中友好の絆はとても深いと思います。ゆえに国交が不安定であっても自治体間の努力によって維持すべきです。

仮に訪問団の渡航が中止されるようなことがあっても、豊城市からの訪問団は心を込め